



WESTMINSTER
LAW SCHOOL



マリリン・フリーマン教授
(Biography Professor Marilyn Freeman PhD)

■所属・役職：ICFLPP（家族法，政策及び実務のための国際機関）共同代表

ウェストミンスター大学教授・首席研究員

弁護士，ファミリーメディエーター

■専門分野：国際的な子の連れ去り，子に関する国際家族法

マリリン・フリーマン教授は、国際的な子の連れ去り，子に関する国際家族法の分野における第一人者として広く知られており，専門分野における著作・論文等が多く出版されている。特にリロケーション（子を持つ家族の別離に伴う転居に関する法制），強制結婚に対する大学の反応，国際的な子の連れ去りの長期的な影響等に関する画期的な研究を行っており，最近では，英国学士院の資金援助を受け，国際的な子の連れ去りに関するハーグ条約において，返還を拒否する子どもたちの予後に関する研究を行っている。同教授の最近の研究では，同条約の下での子の連れ去りと子の保護を含む，子の生活・人生に影響する手続における子の意見表明と手続参加に焦点を当てている。

同教授は，国際的な子の連れ去り・その他の家庭内の紛争を含む事案において，子に対して直接コンサルテーションを行うためのトレーニングを受けたファミリーメディエーターの資格を有している。

Contact: m.freeman@westminster.ac.uk